

《定時制特別授業(講演会)の開催に同窓生が講演》

日時:令和3年11月4日(木)午後5時30分～8時00分

場所:兵庫県立松陽高等学校(高砂市曾根町)

3・4年生(40名)探究ルーム(講演室)

1・2年生(80名)HR教室(リモート聴講)

演題「松陽という星とともに」

講師:定時制浜の宮分校8回生 菅野松男(定時制教諭 井上真里先生と対談形式)

内容:

- 1、(1)星との出会い 小学5年生の時、小学校の望遠鏡で土星を見て感動
(2)高校生時代の思い出 自作天体望遠鏡を学校へ持って行き観望会を開き、天文クラブを発足活動
(3)6年間勤めた農協を退職して明石市立天文科学館へ転職
学芸係プラネタリウム解説員となり37年間勤続
その間の最大の思い出は、昭和46(1971)年に浩宮様(小学5年)がご来館され、プラネタリウム解説を担当させていただいたこと
(4)昭和46(1971)年に私設天体観測所を開所して、彗星・新星・小惑星を発見
平成10(1998)年に小惑星に母校の名「松陽」を命名
(5)後輩へのメッセージ
松陽高校に学んだことに自信と夢を持って頑張ってください
- 2、天体観望会 担当 加古川宇宙科学同好会代表 細谷秀樹(星座案内・穂積先生)
秋晴れの校庭で土星・木星・金星・星雲星団・二重星等観望
レーザーポインターによる星座案内

